

奈良市指定管理者選定委員会 採点集計表

施設の名称	市立奈良病院
申請団体の名称	公益社団法人 地域医療振興協会

審査日 令和6年1月16日

適否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査								意見
		A	B	C	D	E	適の数	否の数	判定	
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	

得点審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点								配点		意見		
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
2 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	3	2	3	2	2	2.4	12	50	15	60	33%	公的医療機関としての役割を十分に認識し、経営面においても効率的かつ効果的な運営を行う姿勢がある。	診療報酬改定については、人員配置や病院経営に影響するので、より精緻な対応を行うことを望む。
	② 事業実施計画	2	3	3	2	3	2.6	13		15				
	③ 利用の促進、サービスの向上の方策	3	2	3	2	3	2.6	13		15				
	④ 苦情・トラブルの対応・防止に対する方策	3	2	3	2	2	2.4	12		15				
3 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	② 経費縮減に対する考え方及び方策	3	2	3	2	2	2.4	12	12	15	15	8%		
4 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	③ 職員の配置、勤務体制及び研修計画	2	3	3	3	2	2.6	13	38	15	45	25%	全国展開のため専門的な人材が豊富であり、特に研修体制が充実している。市立病院の受託者として20年の実績と全国での類似施設の管理運営実績があり、業務遂行ノウハウの蓄積がある。	コロナ禍で病院実習が減り、看護師の現場経験が不足するため、実習機会の確保等により一層尽力してほしい。
	④ 類似事業の実績、ノウハウ	3	2	3	2	3	2.6	13		15				
	⑤ 財務状況の健全性	3	2	3	2	2	2.4	12		15				
5 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 施設の管理運営に対する熱意・意欲	3	2	2	2	3	2.4	12	49	15	60	33%	利用者にとって利便性と効果のある医療サービスに努めるとしており、地域の医療機関とも診療協力体制を構築し、県の構想計画にも積極的に参画している。	市立奈良病院への不断の改革への姿勢をより発揮すること。
	② 行政との連携	3	2	2	2	2	2.2	11		15				
	③ 地域医療における連携・貢献	3	3	2	2	3	2.6	13		15				
	④ 公立病院として果たすべき役割・責務	3	3	2	2	3	2.6	13		15				
合計点		34	28	32	25	30		149	149	180	180	100%		

〔総評〕

指定管理者としてふさわしい団体である。適切でないとは言えない。住民サービスの代表例が医療です。決して情性に流されることなく、患者さんに寄りそうことを常に心がけるようにしてほしい。市立奈良病院の今後の有り様について責任を持つ組織があるのかどうか。心療内科の充実にも力を入れてほしい。